

GAP（農業生産工程管理）拡大の推進

【令和5年度予算概算決定額 189（234）百万円】の内数

<対策のポイント>
持続可能な農業構造の実現の観点から、GAP指導員による指導活動、農業教育機関や環境負荷低減に取り組む団体の認証取得、**GAP農産物の需要を拡大していくためのセミナー開催や商談会への出展、実需者とのマッチングの促進**など、国際水準GAPの取組拡大に向けた取組を支援します。

<事業目標>

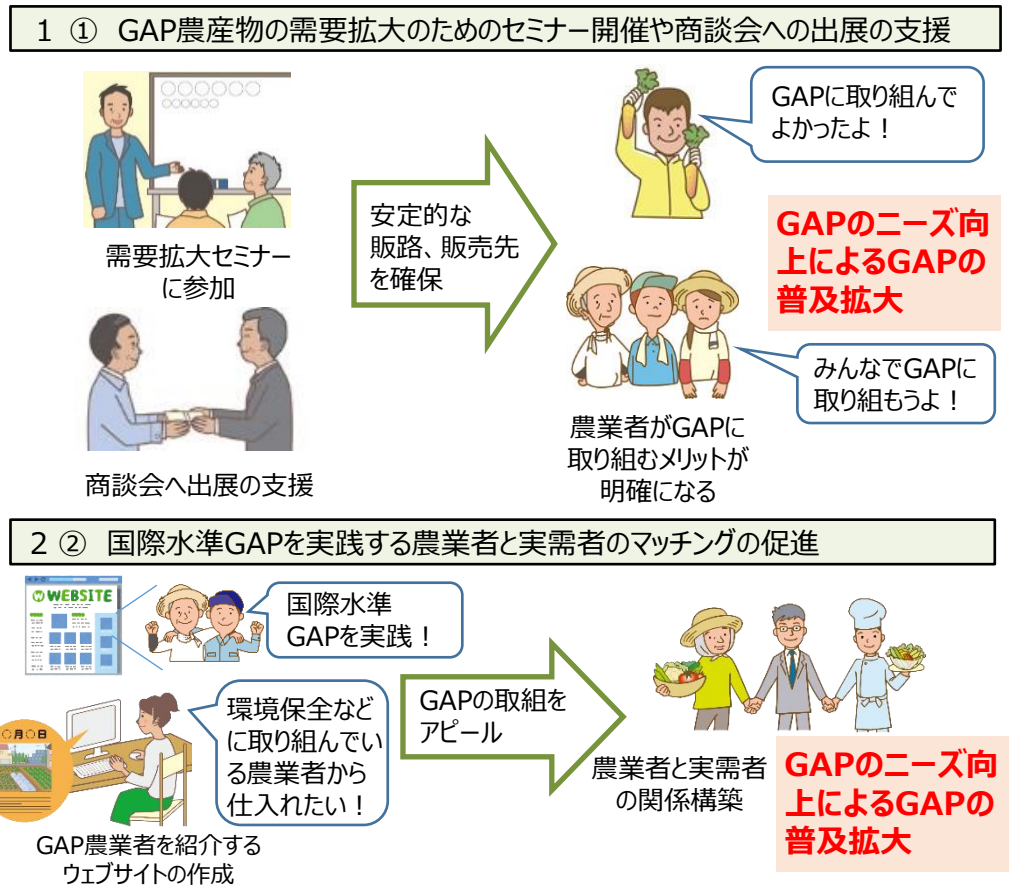
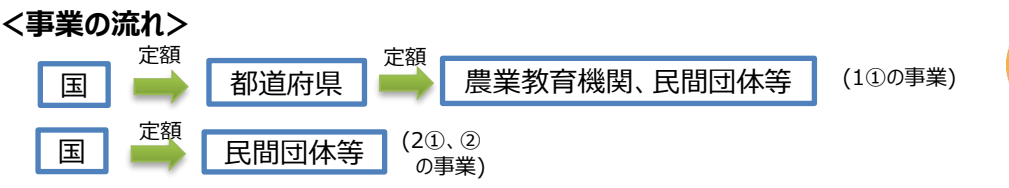
- ほぼ全ての国内の産地で国際水準GAPを実施〔令和12年度まで〕
- 日本発GAP認証（ASIAGAP）のアジアにおける主流化〔令和12年度まで〕

<事業の内容>

<事業イメージ>

持続的生産強化対策事業

- 1. GAP拡大推進加速化事業（交付金）** **111（105）百万円**
 - ① 国際水準GAP普及推進交付金**
国際水準GAPの取組の拡大に向け、GAP指導員による指導活動、農業教育機関や環境負荷低減に取り組む団体の認証取得、**GAP農産物の需要を拡大していくためのセミナー開催や商談会への出展**を都道府県向け交付金により機動的に支援します。
- 2. GAP拡大推進加速化事業（補助金）** **20（32）百万円**
 - ① 国際水準GAPガイドライン普及促進** **10（10）百万円**
国際水準GAPガイドラインを普及促進するための研修を全国で開催する取組を支援します。
 - ② 国際水準GAPを実践する農業者と実需者のマッチングの促進** **10（-）百万円**
GAP農産物の取引量を拡大させるため、商談の促進に必要な**国際水準GAPに取り組む農業者と実需者のマッチング**を支援します。



【お問い合わせ先】 農産局農業環境対策課（03-6744-7188）

<対策のポイント>

GAPは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組です。新型コロナウイルス感染症の蔓延を踏まえ、GAPの取組を通じて、衛生管理のルール化と徹底という、農業現場における感染症の拡大防止策を講ずることは重要です。このため、アセアン事務局への調整員派遣を通じ、国際的に通用するGAP認証の研修等を実施し、アセアン諸国においてGAPの普及を推進するとともに、日本発GAP認証に関する理解度の向上を図ります。

<事業目標>

- アセアン諸国における日本発GAP認証（ASIAGAP）の理解度向上[令和5年度まで]

<事業の内容>

1. GAP認証審査に係る研修の開催

ナショナルGAPの審査機関の審査員等を対象として、日本発GAP認証であるASIAGAPを例に、国際的に通用するGAP認証の取組を学ぶ研修を開催し、**現地の審査機関の審査員の能力向上**を図ります。

2. 農業者向けGAP指導者の派遣

アセアン諸国でASIAGAP認証を取得したい農家や農業団体等に対し、**GAP指導者を派遣し、現地農場の認証取得に向けた支援**を行います。

3. 実需者へのアドバイザー派遣

ASIAGAP認証農産物を取り扱う意向のある小売事業者等と我が国の農業者等との橋渡しとなる現地コーディネーターを通じ、**現地の要望に応じた助言が可能**なアドバイザーを派遣し、**現地でのASIAGAP普及に向けた支援**を行います。

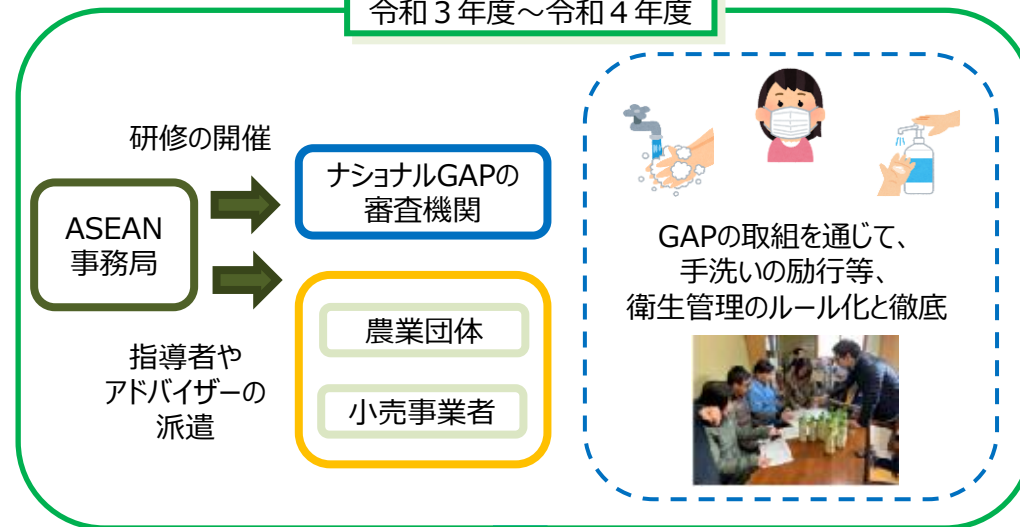
また、ASIAGAPの実需者への更なる理解の向上を図るため、**3年間の活動の成果を紹介するセミナーを開催**します。

<資金の流れ>



<事業イメージ>

令和3年度～令和4年度



令和5年度

- **研修の開催、GAP指導者やアドバイザーの派遣**
- **日本発GAP認証のセミナー開催**
日系流通事業者等や審査機関、政府機関を対象としたASIAGAPに関するセミナーを開催。